

# HP iLO 4 リリースノート

## 1.30

HP 部品番号: 684917-197  
2013 年 9 月  
第 1 版



© Copyright 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で 사용되는場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

#### 商標

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Java は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

#### リビジョン履歴

製品番号	サポートされるバージョン	改版番号	改版日
684917-196	1.22	1	2013 年 4 月
684917-197	1.30	1	2013 年 9 月

## 説明

HP iLO サブシステムは、初期のサーバーセットアップ、サーバーヘルスの監視、電力と温度の最適化を行い、リモートサーバー管理を簡素化する、HP ProLiant サーバーの標準コンポーネントです。HP iLO サブシステムは、インテリジェントなマイクロプロセッサ、セキュリティ保護されたメモリ、および専用のネットワークインターフェイスを備えています。この設計により、HP iLO は、ホストサーバーとそのオペレーティングシステムから独立しています。

HP iLO 4 には、以下の重要な機能があります。

- HP Active Health System - サーバーハードウェアとシステム構成の変化を監視し、記録します。
- Agentless Management - ホストサーバーの状態に関係なく、HP iLO からの SNMP アラートによりエージェントレス管理を提供します。
- リモートサポート - オペレーティングシステムソフトウェアに関係なく、iLO から Gen8 サーバーを Insight Remote Support に登録できます。追加のホストソフトウェア、ドライバー、エージェントは不要です。

## アップデートの推奨事項

必須：このアップデートは今後のサポートで必要となります。

## 置き換わるバージョン

1.22

## 製品モデル

HP iLO 4

## オペレーティングシステム

- Microsoft Windows Server 2008、R2
- Microsoft Windows 2012
- Red Hat Enterprise Linux 5 (x86、AMD64/EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 6 (x86、AMD64/EM64T)
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (x86、AMD64/EM64T)
- VMware ESX/ESXi Server 4.0、4.1
- VMware ESXi Server 5.0
- VMware vSphere 5.1

## ブラウザ要件

iLO の Web インターフェイスを実行するために、以下のブラウザがサポートされています。

- Internet Explorer 8、9、10
- Firefox ESR 17
- Chrome (最新バージョン)

iLO 4 の Web インターフェイスを使用する場合は、以下の設定を有効にする必要があります。

- **[JavaScript]** - このアプリケーションは、クライアント側の JavaScript を広範囲で使用します。
- **[Cookies]** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。
- **[ポップアップウィンドウ]** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。

## サポートされるデバイス

- HP ProLiant BL420c Gen8
- HP ProLiant BL460c Gen8
- HP ProLiant BL465c Gen8
- HP ProLiant BL660c Gen8
- HP ProLiant DL160 Gen8
- HP ProLiant DL320e Gen8
- HP ProLiant DL360e Gen8
- HP ProLiant DL360p Gen8
- HP ProLiant DL380e Gen8
- HP ProLiant DL380p Gen8
- HP ProLiant DL385p Gen8
- HP ProLiant DL560 Gen8
- HP ProLiant ML310e Gen8
- HP ProLiant ML350e Gen8
- HP ProLiant ML350p Gen8
- HP ProLiant SL230s Gen8
- HP ProLiant SL250s Gen8
- HP ProLiant SL270s Gen8
- HP ProLiant SL2500 Gen8
- HP ProLiant SL4540 Gen8
- HP ProLiant WS460c Gen8 Workstation Blade
- HP ProLiant MicroServer Gen8

## 拡張機能

このバージョンでは、次の機能と拡張機能のサポートが追加されます。

- System ROM、シャーシマネージャー、CPLD、Power Management Controller ファームウェアを iLO Web インターフェイスと RIBCL スクリプトで更新できます。
- IPv6 ネットワーク通信（専用ネットワーク接続のみ）。iLO 4 1.2x でサポートされる機能に加えて、次の機能がサポートされます。
  - RIBCL/XML スクリプティング
  - SNMPv3
- IPv6 機能が iLO ユーティリティにさらに追加されました。
- 15 秒、30 秒、45 秒、60 秒のサーバーの [電源オン遅延] オプションが使用可能です。この新しいオプションは、[電力管理] > [サーバー電力] ページおよび SET\_HOST\_APO コマンドで使用可能です。
- RIBCL を使用すると、iLO 4 の HP シングルサインオン（SSO）設定を変更できます。
- 新しい Web サーバーと新しい SSH サーバーでは、パフォーマンスと信頼性が改善されました。
- [システム情報] > [メモリ] ページには、DIMM の HP 部品番号が表示されます。

- サポートされる Encoded Kerberos チケットのサイズは 16 KB に拡大しました。
- SNMP トラップ 9001 では、iLO がリセットを管理する事例のみではなく、すべてのサーバーリセット事例がカバーされます。
- iLO と Insight Remote Support の通信および iLO と Insight Online の通信で障害が発生した場合、SNMP トラップが送信されます。
- Active Health System ログをダウンロードするパフォーマンスが改善されました。
- RIBCL バージョン不一致警告が追加されました。スクリプトのメジャーリリース番号が、期待されるバージョンと一致しないときに発せられます。
- 次のコマンドが追加されました。
  - GET\_ALL\_LICENSES
  - GET\_PRODUCT\_NAME
  - UPDATE\_LANG\_PACK
  - SET\_PERS\_MOUSE\_KEYBOARD
  - GET\_PERS\_MOUSE\_KEYBOARD
  - UPDATE\_FIRMWARE
- 次のコマンドが更新されました。
  - MOD\_NETWORK\_SETTINGS
  - MOD\_GLOBAL\_SETTINGS
  - GET\_NETWORK\_SETTINGS
  - GET\_EMBEDDED\_HEALTH
  - SERVER\_AUTO\_PWR

## 問題の修正

このファームウェアバージョンでは、次の問題が解決されました。

- SSRT101250 に関連して考えられるセキュリティの脆弱性が存在していました。
- 統合リモートコンソール (IRC) の再生ビデオは、記録後に応答を停止することがありました。
- IRC が起動して共有リモートコンソールセッションに参加すると、誤ったエントリが iLO イベントログに記録されていました。
- iLO ファームウェアは、サーバーのリブートごとに、サーバーの Real Time Clock (RTC) の時刻を iLO ネットワークタイムプロトコル (NTP) の時刻で置き換えていました。RTC は、サーバーが接続されていて電源が入っていない状態から戻ったときに限って、NTP の時刻で設定されるようになりました。
- iLO のログイン試行に失敗したとき、HP SIM で SNMP アラートは記録されませんでした。
- JAVA 統合リモートコンソール (Java IRC) を HP シングルサインオン (SSO) で起動できませんでした。
- iLO SSH サーバーは、キーの再生成操作中にセッションを切断していました。
- 新しい HP SSO 証明書をインポートするとき、「証明書は保存できませんでした。」というエラーが発生することがありました (マルチユーザー)。

- 統合リモートコンソール（IRC）は、Web サーバーからダウンロードした事前障害ビデオを再生できないことがありました。
- 適切なパワーサプライを取り付けた後でも、インテグレートドマネジメントログ（IML）のパワーサプライ不一致エントリは修復されませんでした。
- Lock\_Config を有効にしたとき、イベントログはユーザー名を表示しませんでした。
- ユーザーが HPONCFG でログアウトしたとき、XML ログアウト iLO イベントログエントリは記録されません。
- Mod\_Global\_Settings.xml を使用して IPMI/DCMI を有効または無効に設定したとき、iLO イベントログエントリは記録されません。
- CLI および XML スクリプトでディレクトリ設定を変更したとき、iLO イベントログエントリは記録されません。
- SNMP ポートと SNMP トラップポートを変更する CLI オプションは提供されません。
- [サーバー電力] ページでは、[電源オン遅延] を [最小遅延] か [120 秒までランダム] に設定できません。

## 前提条件

- 次のユーティリティを使用する場合は、提示されているバージョンに更新してください。

ユーティリティ	バージョン	iLO 4 1.30 のバージョンの注意事項
HPQLOCFG	1.0	CPQLOCFG ユーティリティがこれによって置き換えられました。
HPONCFG	4.2.0	このバージョンを使用するには、チャンネルインターフェイスドライバ（CHIF）もバージョン 3.9.0.0 にアップグレードする必要があります。
LOCFG.PL	4.20	このユーティリティは、HP Lights-Out XML Scripting Sample 4.2.0 バンドルで使用可能です。
HPLOMIG	4.2.0	HPLOMIG のこのバージョンに更新してから iLO 4 1.30 アップデートをインストールしてください。

- 一部の iLO 4 機能は、iLO ライセンスパッケージの一部です。iLO ライセンスについて詳しくは、Web サイト <http://www.hp.com/go/ilo/licensing>（英語）を参照してください。
- Java 統合リモートコンソールを使用するには、Java Runtime Environment, Standard Edition 1.4.2\_13 以降をインストールする必要があります。
- .NET IRC は、Microsoft .NET Framework の次のバージョンのいずれかを必要とします。.NET Framework は、Windows Update を使用してインストールできます。
  - .NET Framework 3.5 Full（SP1 を推奨）
  - .NET Framework 4.0 Full
  - .NET Framework 4.5

**注記:** .NET Framework バージョン 3.5 および 4.0 には、Full と Client Profile という 2 つのデプロイメントオプションがあります。Client Profile は、Full フレームワークの一部にあたります。.NET IRC は、Full フレームワークを使用する場合にのみサポートされます。Client Profile はサポートされません。.NET Framework のバージョン 4.5 には、Client Profile オプションはありません。

- .NET 統合リモートコンソールは、.NET Framework の一部である Microsoft ClickOnce を使用して起動します。
  - Mozilla Firefox では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Microsoft .NET Framework Assistant のような ClickOnce プラグインがあると、Mozilla Firefox のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。.NET Framework Assistant は、Web サイト <https://addons.mozilla.org/en-US/firefox/addon/microsoft-net-framework-assist/> からダウンロードできます。
  - Google Chrome では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Chrome ブラウザー用の ClickOnce プラグインがあると、Chrome のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。このプラグインは、Web サイト <http://code.google.com/p/clickonceforchrome/> からダウンロードできます。

## インストール手順

インストール手順については、次のマニュアルを参照してください。

『HP iLO 4 ユーザーガイド』

製品番号：684918-195

版数：1